

●三位一体後第五主日

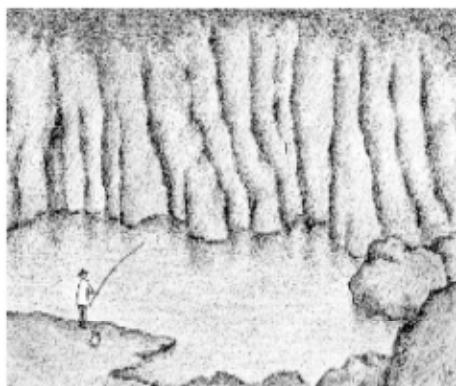
# 泉のほとり

今月の詩編「第二十五編」

あなたに望みをおき、

無垢でまっすぐなら

そのことがわたしを守ってくれるでしょう。



## 励ましの言葉

今日は諸聖徒記念礼拝です。礼拝堂の壁に掲げられている写真を見ると、かつてここで一緒に礼拝をした人たちのことを懐かしく思い出します。でも神さまはどうして今日、この時を与えられたのでしょうか。

パウロという伝道者がある時、初めて訪れたエゲヤ人の会堂で、励ましの言葉を語ってほしいとお願ひされました。励ましとは、慰めとも訳すことのできる言葉です。

そこでパウロがまず語ったのは、神さまがエゲヤ人の祖先であるイスラエルの民を選ばれたということでした。でも、神さまはなぜイスラエルの民を選ばれたのでしょうか。立派で、強い信仰を持っていたからでしょうか。

パウロは言います。神さまはイリ年間、イスラエルの民に耐えなければならなかったと。神さまはエジプトで奴隷となっていたイスラエルの民を導き出してくださったのですが、導き出した場所が荒野だったから、人々は不平を言って、つぶやいてばかりだったのです。

わたしたちも同じかもしれません。これまでの歩みを振り返ってみると、決して幸せで満ち足りた人生ではなくて、感謝よりも不満を持つこと、つぶやくことが、どんなに多かったことか。

でも神さまは、そういうわたしたちに耐えてくださいました。水やパン、肉が欲しいと言えば与えてくださり、しまいは王が欲しいと言って、神さまが自分たちの下であられることも退けてしまった民に、神さ

まは仕え続けてくださり、救い主イエス・キリストを送ってくださいだったので。

ここまで頷いて話を聞いていたエゲヤ人は、ここであれっと思つたと思います。エゲヤ人はわたしたちと同じ神さまを信じていました。でも、イエスさまを救い主として信じることはできなかったのです。ちょうどわたしたちが、神さまは分かるけれど、イエスさまなんていなくてもいいではないかと思うのと同じかもしれません。

するとパウロは、イエスさまが来られる前に、その準備をする大切な働きをした洗礼者ヨハネの言葉を話し始めます。わたしを何者だと思つているのか。わたしは、あなたがたが思っているような、その人ではない。わたしではなくて、あなたを本当に罪から救ってくださる方がおられる。

今日皆さんは、大事な人のことを思つて礼拝しておられると思います。この人がいてくれたから、自分は生きることができた。この人がいなかったら、自分は、信仰は与えられなかった。

ヨハネの言葉は、皆さんの大事にしておられる方の言葉だと思つています。わたしを救い、わたしの命の歩みを導き続けてくださった方が今、あなたと一緒におられる。その主イエス・キリストに出会つて欲しい。

励ましの言葉とは、主イエス・キリストがあなたと一緒におられるということです。あなたがどんな人であるか全てご存知で、そのためにあなたの救い主として来て下さった方は今、あなたと共にあります。

詩篇 第二十七篇(協会共同訳)

一 ダビデの詩。

主はわが光、わが救い。

私は誰を恐れよう。

主はわが命の俸。

私は誰におののくことがあるろう。

二 悪をなす者が

私の肉を食らおうと近づくと

私を苦しめる者、私の敵のほうか

かえってつまずき、倒れる。

三 たとえ、軍勢が

私に対して陣を敷いても

私の心は恐れない。

たとえ、戦いが私に向かって起こっても

私の信頼は揺るがない。

四 私が主に頼った一つのこと

私はそれを求め続けよう。

命のあるかぎり主の家に住み

主の麗しさにまみえ

主の宮で尋ね求めることを。

五 災いの日に、主は私を仮庵に隠し

幕屋の隠れ場にかくまい

大岩に高く引き上げてくださる。

六 今や、私の頭は群がる敵の上に高く上げられる。

主の幕屋で歓声をいけにえとして

献げ主に向かって歌い、ほめ歌を歌おう。

詩篇 第二十七篇(新改訳2017)

一 主は私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。

主は私のいのちの砦。だれを私は怖がるぞう。

二 私の肉を食らおうと

悪を行う者が私に襲いかかったとき

陥れ落ちたのは

私に逆らう者、私の敵であった。

三 たとえ私に対して陣営が張られても

私の心は恐れない。

たとえ私に対して戦いが起こっても

それにも私は動じない。

四 一つのことを私は上に頼った。

それを私は求めている。

私のいのちの目の限り、主の家に住むことを。

主の麗しさに目を注ぎ

その宮で思いを巡らすために。

五 それは主が

苦しみの日に私を隠れ場に隠し

その幕屋のひそかな所に私をかくまい

岩の上に私を上げてくださるからだ。

六 今私の頭は

私を取り囲む敵の上に高く上げられる。

私は主の幕屋で喜びのいけにえをささげ

主に歌い、ほめ歌を歌おう。

今日のお知らせ

○今日の午後二時より定例役員会が開かれます。

役員の方はご出席ください。

○今日の午後四時より、聖書の学び会を行います。

今回はダビデの信仰を学びます。参加情報等について

は前回と同じアクセス先ですが、金曜日

に石川役員からのメールで再度お知らせいただきました

ました通りです。どうぞご参加ください。

○附属幼稚園は、十九日(火)から年長キャンプを奥

多摩にて一泊で行います。

○昨日礼拝堂でミヤンマー教会の長老リヤンさんの

葬式が執り行われました。

○三面に新共同訳聖書も掲載していますので、是非ご活用ください。

詩篇 第二十七篇 (新共同訳)

ダビデの詩。

- 一 主はわたしの光、わたしの救い  
わたしは誰を恐れよう。主はわたしの命の誓  
わたしは誰の前におののくことがあろう。
- 二 さいなむ者が迫り  
わたしの肉を食い尽くそうとするが  
わたしを苦しめるその敵こそ、  
かえつてよろめき倒れるであらう。
- 三 彼らがわたしに対して陣を承いても  
わたしの心は恐れない。  
わたしに向かって戦いを挑んで来ても  
わたしには権行がある。
- 四 ひとつのことを主に願ひ、  
それだけ求めよう。  
命のある限り、主の家に宿り  
主を仰ぎ望んで喜びを得  
その宮で朝を迎えることを。
- 五 災いの日には必ず、  
主はわたしを仮庵にひそませ  
幕屋の奥深くに隠してください。  
岩の上に立たせ
- 六 群がる敵の上に頭を高く上げさせてください。  
わたしは主の幕屋でいけにえをささげ、  
敬声をあげ 主に向かって賛美の歌をうたう。



次週礼拝

● 第一礼拝 (午前9時30分)

- 讃美歌 讃1205番 雄々しくあれ
- 説教 「神の家とは」
- 聖書 Iテモテ3章14〜16節
- 説教者 菊池美穂子 副牧師



● 第二礼拝 (午前11時)

- 讃美歌 90番 274番
- 説教 「思いがけない時に来られる」
- 聖書 マタイ24章29〜31節
- 説教者 黄允澁 牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 205番 雄々しくあれ

説教 「穏やかに迎え入れた」

聖書 ヘブライ人11章31節(新約P416)

司式 菊池 美穂子 副牧師

聖餐司式 黄 允澁 牧師 ・ 菊池 美穂子 副牧師

説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「神はわが救い、助け、信頼」J.S.バッハ

○讃美歌21 205番(1, 5番)

1. 今日光が 造られた日よ、  
闇の中にも 「光かがやけ」
5. 今日主イエスの よみがえりの日  
われらを生かす 愛をたたえよ

アーメン

○「雄々しくあれ」(1, 2番)

1. 雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ  
神さまはどこにでも 共におられる  
われらを倒して 負かすものはない  
雄々しくあれ 強くあれ 強くあれ
3. 雄々しくあれ 強くあれ 少年たちよ  
神様の御教えを 守り行ない  
右にも曲がらず 左にもそれず  
ただ真っすぐ進むのだ 進むのだ

アーメン

聖餐曲「世俗的前奏曲」J.777

後奏曲「恵みゆたけき主を」J.667/8

## 第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 12番 270番

説教 「再び来られるキリスト」

聖書 マタイ24章15～31節(新約P47)

司式 菊池 美穂子 副牧師

聖餐司式 黄 允澁 牧師 ・ 菊池 美穂子 副牧師

説教者 黄 允澁 牧師

前奏曲「キリスト、汝は明るき日」J.S.バッハ

○讃美歌12番(1・3番)

○讃美歌270番(1・4番)

聖餐曲「世俗的前奏曲」J.777

後奏曲「恵みゆたけき主を」J.667/8